

Title	北京の史學界
Sub Title	
Author	杉本, 忠(Sugimoto, Tadashi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1942
Jtitle	史学 Vol.20, No.4 (1942. 6) ,p.150(636)- 153(639)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19420600-0150">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19420600-0150</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 彙報

## 北京の史學界

最近の北京史學界の狀況を、主として中國側大學を中心に調査して見たいと思つたのは昨年秋であつたが、種々な事情の爲一應材料の集つたのは舊正月を目前にした二月の中旬であつた。調査事項は大體次の四つである。一、史學系教授講師氏名。二、本年度講義題目。三、機關雜誌。四、最近發表の論文著書。

先づ國立北京大學の文學院は景山東方に東亞文化協議會と向合つてゐる。此處の史學系の主任教授は日本語の達者な吳祥麟氏、擔當は西洋上古史及西洋近代史である。教授は他に日本史及日本文化史の岡本堅次氏を數へるのみで後は全部講師、殊に中國史の教授がゐないと云ふことは如何にも此の大學復興後未だ整備時代と云つた感を與へるのである。併し講座は日本にもよく知られた馮承鈞氏を始めなか／＼種類に富んでゐる。莫東寅(中國通史)。楊仙洲(中國上古史、中國史專籍研究)。王瑞生(中國近代史)。謝剛主(秦漢史、魏晉南北朝史、中國史料目錄學、中國史籍研究)。馮承鈞(隋唐五代史、中亞民族史、中西交通史)。今西春秋(遼金元史)。齊佩瑤(中國文學概要)。安樹德(中國學術思想概要)。鄧子

修(歴史地理)。柯昌濟(甲骨文)。姚堅(金石學、人類學)。田震(西洋通史、外國史籍研究)。李隱堂(外國史專籍研究)。戚佑烈(西洋文化史、古代社會發達史)。焦蘊楠(西洋史學史)。彭鑑(宗教史)。張尙德(史學方法概論)の諸氏である。機關雜誌は現在未刊、病軀の割に著書の多い馮氏も最近の業績はなく、吳教授の西洋上古史も未だ上梓を見ない。但し圖書館は外觀の殺風景さにも拘らず、書庫閱覽室その他内部の設側は斷然他校に勝れ、舊清華大學の圖書も昨秋併せ收めて最近その整理を了つたと云ふことであるから、今後同校史學系の益々發屋されんことを期待したい。

國立師範大學は古書と古玩で有名な琉璃廠に近い和平門外にある。昨年十二月從來の高等師範男女兩校を合せて大學に昇格したばかりである。史學系主任は李泰棻氏、教授課目は考古學、甲骨學、史學概論で、同氏は方志にも委しく、考古學標本(主として古銅器)も兩三年來豫算を得て蒐めてゐられる。他の類觸には教授、陳同龢(西洋史)。齋藤清衛(東亞史)。陸鼎吉(西洋史)。副教授、深繩禱(中國通史、史學目錄學)。講師、王森然(史學研究法、周秦學術史、宋明學術史)。趙馮鐸(中國通史)。眞武直(東亞史)。岡本堅次(東亞史)。謝剛主(史學目錄學)。李丕讓(中國通史、沿革地理)。韓補歷(史學目錄學)。助教、方傑華の諸氏である。機關雜誌は此處も未刊。史學系攷古室專刊として癡齋藏金を毎年一冊刊行、現在三冊を數へてゐる。

私立輔仁大學は北海公園の北閑靜な定阜大街にある。カソツリク系の大學で、大東亞戰爭勃發と同時に、一時軍の調査を受けた

が、米國系勢力と絶縁して直に開校の運びとなつた。此處の校長は元西域人華化考、元典章校補釋例その他の著者で日本にも聞えた陳垣氏、主任教授は中西交通史料匯編の著者張星煥氏である。教授、張星煥（秦以前史、宋遼金元史、南洋史地、中西交通史、歐化東漸史、政治地理）。陳垣（中國史學名著評論、史源學實習）。胡魯士（西洋文明史、西洋中古史、西洋近世史）。講師、柴德賡（中國歷史研究法、中國史綱要）。張鴻翔（明清史、中國近代西北史、中國民俗史）。牟傳楷（魏晉南北朝史、清代學術史、歷史地理）。余遜（秦漢史）。王光璋（地理學概論）の諸氏。出版雜誌には輔仁學誌と歐文の *Monumenta Serica* とがある。最近號の主要目錄を掲げると輔仁學誌

第九卷第一期

- 漢武伐大宛爲改良馬政考
- 陳氏切韻考辨誤
- 讀天壤閣甲骨文存及考釋
- 張石琴與大谷學派
- 唐帝誕辰祝賀考
- 廣韻譌奪舉正

第九卷第二期

- 清初僧諱記
- 明失遼東攷原
- 喬公楚辭音之協音說與楚音
- 袁曆解

彙報

趙	周	趙	陳	葛	葉	劉	魏	周	余
衛	祖	光	垣	信	德	厚	建	祖	嘉
邦	謨	賢	垣	益	祿	滋	功	謨	錫

釋氏疑年錄通檢

*Monumenta Serica* Vol. V. 1940.

Frich Haenische, *Lebenslauf und Bibliographie*

Article

Ch'en H. S. & Kates, G. N.: *Prine Kung's Palace and its Adjoining Garden in Peking.*

Fuchs, Walter: *Koreanische Quellen zur Frühgeschichte des Tabaks in der Mandjurai zwischen 1630 and 1640*

Bernard, Henri: *Ferdinand Verbiest, Continuateur de l'oeuvre scientifique d'Adam Schall*

Wellen, Friedrich: *Buddhas letzte Wanderung (Fortsetzung)*

Eberhard, W.: *Untersuhungen an astronomischen Texten der chinesischen Tripitaka*

Eder, Matthias: *Der Untergang des Hauses Chêng*

Tschen Yuan: *Johan Adam Schall von Bell S. J. und der Bonze Miu Tschen-wen (übersetzt von D. W. Yang)*

Behergne, J.: *Les origines du Christianisme dans l'île de Hainan*

Peters, Hermes: *Manjurische Grammatik*

尙輔仁大學叢書として

- 第五釋氏疑年錄
- 第六明季漢黔佛教考

陳垣  
陳垣

第七廣韻聲系

第八南宋初河北新道教考

沈兼士 陳垣

等の著書がある。

最後に去る十二月八日開戦と同時に軍に接收され、二月十三日永久に閉鎖廢止と決定された米國系燕京大學に就て一言しやう、既に閉鎖と決したものを此處に取上るのは、同校史學系が哈佛燕京學社、引得編纂處等と相俟つて、北京史學界に於ては最も活潑な業績を示してゐた點と、又同大學は之を閉鎖するとはいへ、同校の教授學生中その敵性を有せざるものは北京大學その他に收容すると云ふ當局の理解ある處置によつて、やがて以下に擧げる人々の中からも、何人か他の各大學の講座を擔當することも期待されるからである。筆者が北京支那人類の發掘で有名な裴文中博士の案内で西郊萬壽山に近い海淀の同大學を訪れたのは日米會談爛な初冬の日であつた。同校の校舎校庭は極めて美しく北京遊覽の外人の間には名所の一となつてゐるが、日吉を持つ吾々にとつては驚く程でもない。平面的な同校に對して立體的な日吉の美しさを誇らかに憶起したものであつた。圖書館は外觀は美しいが書庫が閱覽室にまではみ出した形でいさゝか窮屈な感じを與へるし、裴氏の開設した史前古物陳列所も、三田の考古學陳列室程もないさゝやかなものである。但し此處には周口店の發掘物の一部が陳列されてゐるし、僅か二室からなる引得編纂處が一昨年未までに既に五十種を刊行した精勵振は相當なものである。同校史學系主任は齊思和教授で未だ若々しい人である。講座は中國通史、

隋唐五代史、明清史、民國史研究(以上鄧之誠教授)。殷周史、春秋史、西洋現代史、西洋史學名著選讀、西洋史學教學法(以上齊思和教授)。遼金元史、亞洲史概論、遠東近代史、蒙古歷史語學研究、中亞史研究(翁獨健講師)。中國官制史、宋史研究(聶崇岐講師)。隋唐五代史研究(張爾田導師)。日本史、日本史研究(蕭正誼講師)。遠東近世外交關係研究、現代美國史(雷仁福 Charles C. Stelle 名譽講師)。西洋通史、西洋上古史研究、西洋史學名著選讀、西洋史學教學法(貝盧思女士 Lucy M. Burte 副教授)。歐洲向外發展史、基督教史、近代基督教史、西洋向外發展史研究、西洋史學名著選讀(王克私 Ph. de Vargas 教授)。歐洲近代史(王聿修助教)。初級歷史方法、高級歷史方法(洪煨蓮教授)。中國地理、世界地理、中國地理沿革(侯仁之講師)。史前時代考古學(裴文中講師)。巴勒斯坦考古學、北平宗教古蹟古物調查實習(李榮芳宗教學院教授)。他に印刷物には載つてゐなかつたが鳥居龍藏博士が居られた。雜誌は史學年報

第三卷第二期

中國史前學上之重要發見

范蔚宋年譜

唐初鎮兵考

尹洙之年壽

明之北邊側禦(兵儒)

錢謙益著述被禁考

黃思彤與鴉片戰後外交

裴文中  
張述祖  
杜洽  
聶崇岐  
林樹惠  
徐緒典  
陳鏊

夏先生穗郷傳略

新元史蒙兀兒史記愛薛傳訂誤

他に燕京學報(季刊)がある。關係教員の近業には

齊思和 Contemporary Western History 1940

燕吳非周封國說(燕京學報廿八期)

牛耕之起源(經濟學研究季刊第一卷第一期)

洪煨蓮 Chinese Inkshlab in Chinese Literary Tradition, Harvard-Yen-ching Institute Occasional Papers No. 3, 1940

鄧之誠 舊聞零拾 二册

聶崇岐 宋代府軍監之分析(燕京學報廿九期)

翁獨健 元代幹脫制度考(燕京學報廿九期)

王聿修 A Supplementary Reading List for History Majors 1941

侯仁之 故都勝蹟輯略

張璋瑛 續天下郡國利病書山東之部

聖法蘭西斯小花集選譯(基督教史料譯叢)

他に哈佛燕京學社出版に係る

西園閣見録 明張萱著民國廿九年八月

商周彝器通考 容庚(燕京學報專號之十一)卅年三月

等がある。尙引得編纂處前記五十種以後最近の業績は正刊37周禮、

38爾雅注疏、39全漢三國晉南北朝詩著作、特刊15六藝之一錄、16

論語、17孟子、18爾雅、19清朝進士題名碑等であり、編纂中のも

のに史記、墨子、後漢書があつた。(杉本 忠)

昭和十六年 三田史學會研究旅行

昭和十六年六月八日(日) 天氣 快晴

參加者占部先生、伊木先生(指導)、間崎先生及び學生七名都合十名

午前六時半線國驛集合

午前六時五十分兩國驛發、同十時十一分佐原着

驛前よりバスに乗り約十五分の後十時三十分頃香取神宮に到着

香取神宮見學

香取神宮沿革、祭神は經津主神である。鹿島神宮の祭神武甕槌神と共に國土開拓の鴻業をつとめられ、此の地方を平定された。

御鎮座以後朝廷の崇敬厚く神護景雲六年大和の春日神社に御分靈が迎へられ、爾後春日神社と共に藤原氏により氏神として尊崇されることになつた。社殿の造替は十年或は二十一年毎である。

從來の社殿は元祿十三年徳川綱吉の造替によるもので、其構造は權現造である。皇紀二千六百年を機とし、昭和十一年より修築の事業起り、今日見る所のは昨年十月完成したもので彩色美麗である。

先づ昇殿して拜禮を終り社務所で古文書等を拜見する。

廳宣、鎌倉時代將軍御教書、足利尊氏寄進狀、造替の記録等貴重なる史料を含む古文書五巻を始め、香取文書集、大祭繪卷上下二巻、香取年中行事一帖其他の拜見を畢り、大饗祭繪卷に因